

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公表番号】特表2010-502961(P2010-502961A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-526904(P2009-526904)

【国際特許分類】

G 01 N 35/02 (2006.01)

G 06 K 7/00 (2006.01)

G 06 K 19/06 (2006.01)

【F I】

G 01 N 35/02 C

G 01 N 35/02 B

G 06 K 7/00 U

G 06 K 19/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月3日(2010.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明の視覚システム50の重要な特徴は、図5に例示されたような、多くの特別にマーキングされたサンプルチューブ挿入物60であり、そして各々の異なる挿入物60はそこに貼られた独特の三次元マーキング62を有し、そして挿入物は、種々の高さと直径のチューブ40を共通の吸引レベルに配置するように高さを変えるものである。一つの実施態様において、この三次元マーキング62には、一本の水平ガイドバー66から垂れ下がっている、黒い等間隔の0~3個の垂直データバー64が挿されている。挿入物60のタイプと存在を同定するために、垂直データバー64の有無が視覚システム50によって定められる。典型的な実施態様において、各々の垂直データバーは、幅が約0.05インチであり、そしてマーキング62の底まで延びる高さを有し、マーキング62は高さが約0.3インチで、幅が約0.9インチである。3つのデータバー64を用いると、下表1に示されるように、最大数で8つの異なるタイプの挿入物が同定可能となる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

図5は、どのように三次元マーキング62が、水平ガイドバー66から垂れ下がっている垂直データバー64に挿されているかを例示しており、そしてまた、異なる三次元マーキング62に対応する異なるチューブタイプも示している。実際に、オペレーターは、そこに貼られた適切な三次元マーキング62を有する挿入物60を、ラック42中のチューブ開口部内に、そこにチューブ40を置く前に、簡単に置くことになる。例えば、もし患者のサンプルが(長さが100mmの「背が高い」チューブとは対照的に)長さが約75mmの「短い」直径13mmの主チューブ40中に含まれるならば、001(図5における

る上から 2 番目 ) として挿されているマーキング 6 2 を有する挿入物 6 0 が、チューブ 4 0 がその中に置かれるより前に、ラック 4 2 内のチューブ開口部に挿されるであろう。垂直データバー 6 4 のパターンの選択及びチューブ 4 0 の指示された異なるタイプとの関連は特別なものでもなく、またマーキング 6 2 とチューブ 4 0 に関しては制限されるものでもない。視覚システム 5 0 と関連する同定ソフトウェアプログラムによって、マーキング 6 2 を適切に配置して同定するための助けとして、水平ガイドバー 6 6 が供される。マーキング 6 2 は、3 M (登録商標) S c o t c h L i t e (登録商標) P l u s R e f l e c t i v e G r a p h i c F i l m S e r i e s 6 8 0 として入手可能な、永久的な感圧性粘着剤層を有する柔軟な逆反射シート上に平らな黒インクを用いて有利にスクリーン印刷される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

図 6 と 7 は、種々のサンプルラック 4 2 、チューブ 4 0 、マーキング 6 2 、チューブ 4 0 上の栓 4 0 S の有無の例を示している。図 6 は特に、0 1 1 として挿された三次元マーキング 6 2 - 1 を持つ挿入物 6 0 を有する、栓付きの「短い」小児用チューブ 4 0 - 1 0 mm - s h t 上、並びに 0 0 1 として挿された三次元マーキング 6 2 - 3 を有する栓無しの「短い」1 3 mm 主チューブ 4 0 - 1 3 mm - s h t 上のチューブバーコード 4 0 B C を例示している。また、ラック 4 2 がラック同定バーコード 4 2 B C でラベルされたものとして見られる。図 7 はラック 4 2 の左端の開口部が空で、右端の開口部が M i c r o S a m p l e C u p 4 0 - M S C の下に置かれた挿入物 6 0 - 4 を有し、挿入物 6 0 - 4 が、図 5 に合せて、1 0 1 として挿されている三次元マーキング 6 2 - M S C でマーキングされている例を示している。